



KOURAKUEN
HOLDINGS



2021年11月4日

各 位

会 社 名 株式会社 幸楽苑ホールディングス
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 新井田 昇
 (東証第一部 コード番号 7 5 5 4)
 問い合わせ先 常務取締役 渡辺 秀夫
 T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
<https://hd.kourakuen.co.jp/>

第2四半期業績予想数値と実績数値との差異及び

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2021年4月1日~2021年9月30日)と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。あわせて、2022年3月期通期連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)業績予想との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結業績予想数値との差異

(単位:百万円) (単位:円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	14,000	100	250	100	6.65
実績値(B)	12,491	△971	517	341	22.67
増減額(B-A)	△1,508	△1,071	267	241	—
増減率(%)	△10.8%	—	106.8%	241.1%	—
(参考)前期実績 (2021年3月期 第2四半期累計)	12,946	△1,203	△1,126	△943	△62.76

(2) 個別業績予想数値との差異

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,000	70	30	1.99
実績値(B)	4,649	6	△62	△4.18
増減額 (B-A)	△350	△63	△92	—
増減率 (%)	△7.0%	△91.1%	—	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期 第2四半期累計)	4,679	△18	46	3.10

2. 2022年3月期通期業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結業績予想数値

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	28,800	300	600	250	16.63
今回修正予想(B)	26,900	△940	1,000	500	33.25
増減額 (B-A)	△1,900	△1,240	400	250	—
増減率 (%)	△6.6%	—	66.7%	100.0%	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	26,565	△1,729	△969	△841	△55.99

(2) 個別業績予想数値

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,000	220	100	6.65
今回修正予想(B)	9,700	140	70	4.65
増減額 (B-A)	△300	△80	△30	—
増減率 (%)	△3.0%	△36.4%	△30.0%	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	9,618	140	92	6.15

3. 差異の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が収まらず、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施に伴う営業時間短縮要請等による業績への影響が想定よりも長引いたことにより、売上高、営業利益ともに前回発表予想を下回りました。一方で、2018年3月期に減損を前倒しで実行し、2020年3月期の台風被災を受け、コスト削減を継続的に取り組んだことで損益分岐点が引き下がり、また時短協力金等の支給もあり経常利益と当期純利益は想定を上回り、2020年3月期第2四半期以来、2期ぶりに黒字転換となりました。

通期連結業績予想につきましては、第3四半期後半より徐々に新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響が解消されると見込むとともに、時短協力金等の支給を加味し、売上高、利益ともに上記のとおり修正いたします。なお、個別業績予想数値との差異についても、連結と同様の要因によるものでございます。

以上